

主催 倭文会

# 箏・三絃リサイタル 第二十二回

後援 大阪府・大阪市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会

平成二十五年

とき 六月八日(土) 午後五時三十分開場  
六時五分開演

ところ 国立文楽劇場小ホール

大阪市中央区日本橋1丁目12-10 電話(06)621212531  
(地下鉄千日前線・堺筋線・近鉄線「日本橋駅」下車⑦号出口より徒歩一分)

# 上方の風雅(六)

この音楽(地歌・箏曲)は十六世紀半ごろ上方(大阪・京都)で生まれた  
優美な叙情歌。十八世紀に円熟盛大、十九世紀半ごろ完結している。

江戸時代、日本列島は緑に覆われ、機械文明が開かれていない町中は  
静寂感が漂い、閑静な佇まいであったと思われる。

豊かな天然自然の変化する神秘的な美しき、  
移ろう風情に心の機微を表現している。

海外の影響を受けていない日本独自の上方の感性が織りなした音楽である。

◆主演 斎藤春子(箏・三絃)

◆助演 倉橋容堂(尺八)

守山借子(箏)

◆お話 有栖川有栖(作家)

◆演目

## 雲井弄奇

作曲 八橋檢校

(二六一四―一六八五)

十七世紀前期に大流行した三絃曲弄奇節を引き、  
箏歌にしたもの  
海外ではバロック前期 リュリ、カリシミのころ  
箏独奏

## 貴船

作曲 藤林檢校

(生没不詳 十八世紀前期の人)

貴船神社に伝わる逸話をもとに恋のはかなさを  
詞っている  
海外ではバッハ、ヘンデルのころ

## 山姥

作曲 沢野九郎兵衛

(生没不詳 元禄期活躍)

作詞 紀海音(生没不詳)  
謡曲「山姥」を引き叙情的に詠っている  
海外ではクープラン、ビバルデイのころ

## 夜々の星

作曲 光崎檢校

(一八五三)

作詞 皆川淇園(一七三四―一八〇七)  
謡曲「海人」を引き片思いの切なさを詞っている  
海外ではシヨパン、メンデルスゾーンのころ

入場料:前売 3,000円(当日 3,500円)※全自由席

チケット取扱いお問合せ:倭文会 TEL 06-6458-7030・国立文楽劇場 3月1日発売

※郵便振替の場合:口座番号 00900-7-179711/加入者名:倭文会(しずのかい) 確認次第お届けいたします